

2020年度「平成16年台風23号メモリアル事業」の実施 ～過去の被害を振り返り、教訓を次世代につなげる～

2004年10月20日に豊岡を襲った台風23号から16年が経過した。この風水害の経験を風化させないよう「防災学習会」、「メモリアル写真展」を開催する。

また、小学校向けの防災学習教材を2017年度に作成し、防災授業に活用してきたが、今年度は新たに中学生向けの学習教材を作成した。市内の公立中学校で活用する。

1 防災学習会

コロナ禍における防災・減災の対応のあり方に加え、全国での様々な対応を振り返りながら、災害リスクにどのように向かい合い、どのように対応していくべきなのか、改めて考える。

(1) 主催

国土交通省近畿地方整備局豊岡河川国道事務所、兵庫県但馬県民局、豊岡市

(2) テーマ

「コロナ禍をふまえた防災を考える」

(3) 日時

2020年10月7日(水) 午後7時～9時(開場:午後6時30分)

(4) 場所

豊岡市民プラザ(アイティ7階)

※ 定員は100人。

※ より多くの方が観覧・視聴できるよう、各振興局にサテライト会場を設置する(ライブ中継)。各庁舎とも定員は20人。

※ 一般市民向けにYouTubeによるライブ配信も行う。

(5) 内容

ア 講演

(ア) 講師

東京大学大学院特任教授 片田敏孝氏

《参考》プロフィール

昭和35年岐阜県生まれ。工学博士。岐阜大学、群馬大学などを経て、2017年より現職。専門は、災害情報学・災害社会工学。災害への危機管理対応、災害情報伝達、防災教育、避難誘導策のあり方等について研究するとともに、地域での防災活動を全国各地で展開している。昨今の新型コロナウイルスと自然災害を通じて、改めて、一人ひとりのリスクに対する向き合い方(命の守り方)の重要性を説いている。片田氏の講演は2018年から3回目である。

(イ) 演題

「如何に災いに向かい合うか ～コロナ禍と自然災害から考える命の守り方～」

イ 対談

(ア) テーマ

「これからの災いにどう立ち向かうか」

(イ) 出演者

片田敏孝氏、豊岡市長、コーディネーター(佐伯和亜氏)

(6) 申込み

防災課に電話、メールまたはファクスで申込み。

≪防災課≫

TEL 0796-23-1111

FAX 0796-24-5932

E-mail bousai@city.toyooka.lg.jp

(7) 申込期限

2020年10月5日（月）必着

(8) 参加費

無料

2 メモリアル写真展

(1) 日時

2020年10月14日（水）～20日（火）

午前8時30分～午後5時15分

※ 期間中は、土曜日・日曜日も開館

※ 20日（火）のみ午後3時まで

(2) 会場

豊岡稽古堂1階 市民ギャラリー

(3) 内容

平成16年台風23号の被災状況等の
写真展示



消防隊員等による救出救助活動

3 防災教育教材の活用「10・20メモリアルデー防災・減災授業」

台風23号を教訓に、2005年度から10月20日前後に市内のすべての小中学校や幼稚園・認定こども園（全49校園）で防災授業や訓練を実施。児童・生徒は防災・減災について認識を深めるとともに、生命の尊さや助け合いの大切さなどを学ぶ。

2017年度からは豊岡市が作成協力した豊岡河川国道事務所作成の防災教育教材を防災授業に活用している。今年度は新たに中学生向けを作成し防災授業を展開する。

(1) 新たに作成した中学生向け防災教育教材

ア 学習のテーマとねらい

【テーマ①】“分散避難”の考え方を知る

「新型コロナウイルスが蔓延するなかでの避難を考える」

【テーマ②】“学ぶ力”を身に付ける

「避難できない人間の心理を理解する」

【テーマ③】“考える力”を身に付ける

「水害時の具体的な避難行動を考える」

【テーマ④】“貢献する力”を身に付ける

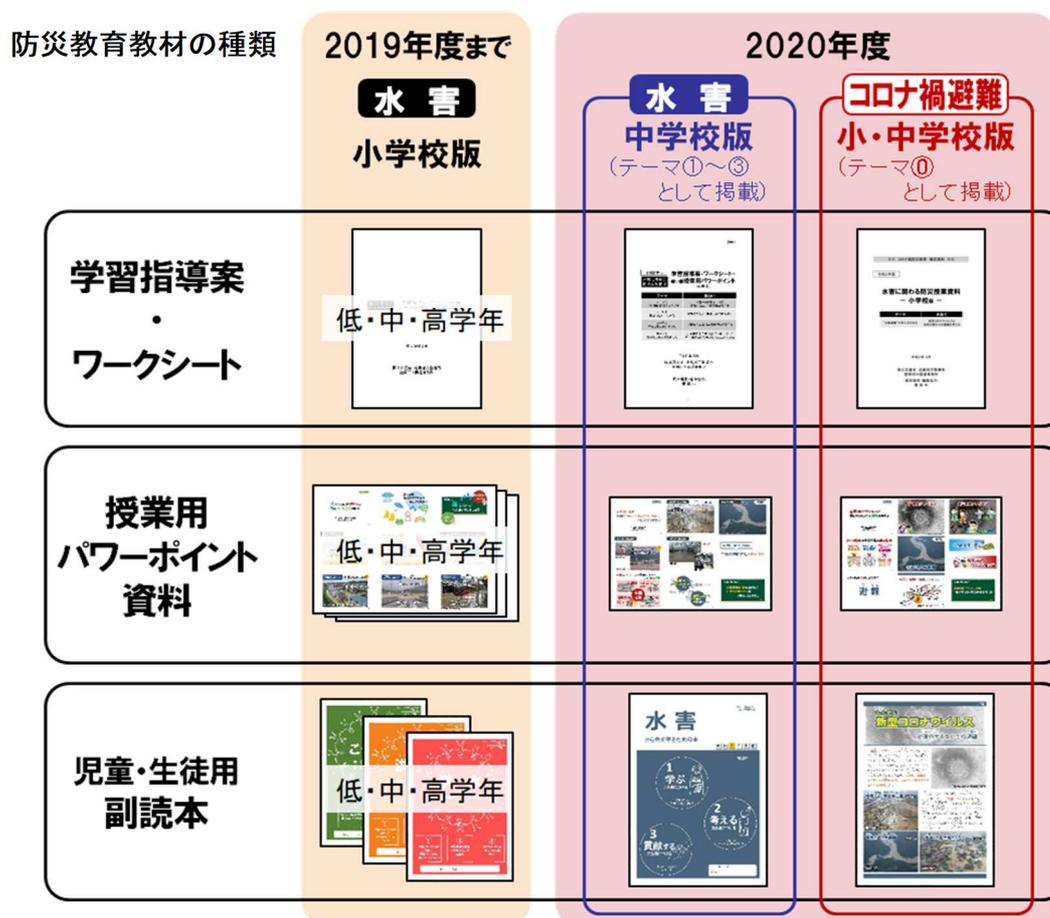
「水害犠牲者を出さないために、中学生の自分たちにできることを考える」

《参考》

これまでに学校に提供された防災教育教材

年度	内容
2017	・小学生(高学年)向け教材作成【豊岡河川国道事務所】
2018	・小学生(低・中学年)向け教材作成【豊岡河川国道事務所】 ・平成16年台風23号の記録写真
2019	・小学生向け教材の更新【豊岡河川国道事務所】
2020	・中学生向け資料作成【豊岡河川国道事務所】 ・防災マップ ・動画「これからの円山川～円山川緊急治水対策事業始まる～」 【豊岡河川国道事務所】

※ 2019年度の活用実績：市内小学校29校中、24校(82.8%)



〔問合せ〕 豊岡市政策調整部防災課 Tel.0796-23-1111 (内線2191)